



ふじ美が原

富士見中学校



令和三年一学期終業式」 一学期の成果と三学期の抱負

年三部 名取 夏美

私が二学期頑張った事は、時間を有効に使う」ということです。

私は、一学期時間を無駄にしてしまうことが多くありました。自分の行動のせいなのはわかっているのですが、私は毎回それを後悔していました。日常の中には、車で移動している時間や学校の休み時間などの隙間時間があります。私は、そのすきま時間に読書をしたり、教科書などを読んで学びに繋げたりして有意義な時間に変えることを意識して生活してきました。その結果、テストの点数が少し上がったりと、授業が楽しくなりました。もっと成果を出して自分の成長につなげていけるよう、時間を有効に使う」という事はこれからも続けていきたいと思っています。

私は一学期での出来事を踏まえて、二学期では「時間を有効に使い、勉強時間を増やす」ということを頑張っていきたいです。一学期では「隙間時間を有効に使う」ということを意識して、「一学期の成果を学びました。なので、それを三学期に生かして勉強時間を増やし、今後の自分や、勉強する習慣をつけることにつなげていきたいです。今自分にできることを一杯やり、未来の自分が困らないように今から考えて行けたらいいと思います。勉強時

間を増やして学習にかけられる時間を十分にとることで、予習や復習ができるようになり、今までの学習よりもさらに充実し豊かなものになってくるのではないかと私は考えます。

今までの経験を最大限生かし、これからの学校生活、三学期を自分の力で充実させていきたいです。

一学期を振り返って

次に向かって充実した生活ができるように

一年 部 窪田琉真

私が一学期に頑張ったことは、二つあります。

一つ目は、自分から発言をしたり、クラスメイトに自分から話しかけたりする「こと」です。

私のクラスは残念なことに、自分の意見を積極的に発表できる人があまり多くありません。だから、授業では、毎回発言する人は同じで、その人たちに任せきりになってしまっていることも多くあります。そこで、私は、今のクラスの状態を改善しようと思いました。より多くの人の意見や考えを聞くことでクラス全体の学びも深まるからです。また、それはいすれ自分に返り、自分が物事を考えるときにいろいろな角度から見られるようになると思うからです。私は、自分の意見を発言するのと同時に、友だちが考えを話しやすいような雰囲気をつくろうと話し合いの中心となり進めてきました。

こうした努力をした結果、男女の仲も深まってきたように感じました。これからも、自分から積極的に発言をしたり、クラスメイトの考えや思いを聞ける雰囲気をつくったりすることを大切にしていきたいと思っています。

二つ目は、周りをよく見て、メリハリのある行動をする「こと」です。

私は、時間を見ながら行動することが苦手です。友達と話をしていると夢中になり、時間を忘れてしまうことがあります。特に、着替えが必要な場面では、つい忘れてしまい、遅れをとってしまいます。そこで、クラスの友だちとさちらが早く着替えることができるか」という競争をしたり、時間について呼びかけたりして、時間を意識した行動ができるように工夫をして生活をしました。その結果、授業が始まるまで、友だちと話をしていた自分でしたが、準備を整え、授業の開始を着席して待つことがしかりできるようになりました。

私たちはあと三か月もすれば、三年生となります。今までに比べて、やらなくてはならないことが格段に増えると思います。生徒会や白鈴祭の準備、テストの回数も増えます。そして、何よりも自分の進路のために受験をこなすにはいけません。学校のためには、自分たちがお手本になれるようにすること。自分自身のためには、学習やみんなの生活にしっかりと取り組む、自分を高めたいです。この二つを意識しながら、さらに、充実

した学校生活を送れるように、これからの三カ月で自分を磨いていきたいと思えます。

一学期の振り返りと三学期の目標

三年 部 深町 東世

一学期は様々なことがありました。今回はその中から、自分が記憶に残っていることを話します。

自分が「番記憶に残っているのは、白鈴祭です。」

理由はこの行事を通して自分を理解し成長することができたからです。

この行事で自分は積極的に行動することができました。今までは周りに流され、自分から何かをするという事はありませんでした。ですが、この行事の中で自分から行動していったというのを振り返っている中で気づきました。今年の白鈴祭ではなくとも、行動しようとは思っていませんでした。ですが、なかなか一歩が出せませんでした。今年の白鈴祭は「歩踏み出すことができて心から楽しむことができました。とても良い思い出になりました。」

自分の三学期の目標は高校合格です。理由は、より専門的な知識や仲間のためなどがあります。

ですが、問題があるのです。自分、勉強ができない人です。なので、受験までの期間、本気で勉強しないとと思っています。努力はいつか報われると

思いながらがんばります。

高校合格したら、自分への褒美としてゲームと読書を堪能する権利をおうかなと考えています。

少々不純な理由も混ざっていますが、目標達成のために努力していきます。意見を聞いてくださりありがとうございます。

校長先生のお話

継続は力なり」という言葉を聞いたことがありますか。よく使う言葉ですが、本当に継続していれば成果は確実に上がるのでしょうか？八十六日間の長い一学期の終わりに「努力の継続」と「成果の大きさ」の関係性について考えてみたいと思います。

例えば、継続してみただけでも全然成果が現れないなんていう経験ありませんよね。取り組む内容や個人差もありますが、頑張っているのにすぐに結果が出ないかと、自分ほだめなんじゃないかと思えます。この成果が感じられない期間、つまり表に見えない期間のことを「プラトール」といいます。英語で高原という意味です。富士見町も高原ですね。それと同じ意味で広く平らな土地という意味です。この「プラトール」の期間は成果が感じられないので、あきらめて止めてしまうことが多くあります。しかし、実際は「プラトール」の

先にこそ、「氣に成長する時期が訪れるのです。これを「ブレイクスルー」といいます。突破」という意味です。

「ブレイクスルー」が起こると「氣にステージが上がります。このとき、ブレイクスルーを経験した人にだけ訪れる充実感や楽しさがわき上がってくると言われています。そしてこれが癖になって、また次を目指したくなるのです。みなさんもこれまで、努力しよう」と一度でも考えたことがある人は、このブレイクスルーを経験した人でもありません。先ほど発表してくれた名取さん、窪田さん、深町さんの三人も一学期を振りかえり、自分が「プラトール」なのか、それともブレイクスルーを味わったのかに係わる話をしてくれました。

ここにいるみなさんはブレイクスルーの経験者です。しかし、成果が出ないなあ「もうやめようかなあ」とプラトールがくるとあきらめてしまった経験もあるはず。プラトールを乗り切るためには「楽しく続ける工夫」が大切だと言われています。詳しくは、三学期の始業式にも話したいと思えますが、例えば、勉強ならば、いつもと内容を変えてみる。トレーニングならば休んでみる、栄養を取るなど、目先を変えて楽しく取り組む工夫をすることは「プラトール」を乗り越える秘訣のようです。よくスランプという言葉も聞きますが、それも「プラトール」の一種です。

ここまでお話ししてきて、最初の問いに戻ると「努力の継続」と「成果の大きさ」における関係は、単純な必ずしも比例関係ではないことがわかります。しかし、「継続は力なり」の考え方は正しい。正しくないのは「あきらめる気持ち」。

あきらめないための工夫は「楽しく続ける工夫」。みなさんどうか二学期をふりかえった時に、ブレイクスルーを迎えられなかったことがあっても、三学期に向けてあきらめずに続けてください。そして、新しい年を迎えたら、もう一度自分の目標を立て直してみましよう。

さて、明日から冬休みに入ります。コロナの感染レベルが落ち着いていますが、久しぶりに家族や親族が顔を合わせることがあるかと思えます。家族で出かけることもあるかと思えます。事故防止、感染症予防対策は今や日常の当たり前のものです。常に新しい感染情報警戒レベルに注意しながら、家族のみなさんと楽しい休みを過ごしてください。二月六日に元気な姿で会いましょう。

富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 0266-6212009

FAX 0266-6217409

担当 両角 太